運命の時計とめぐり合う

2015 WATCH MAGAZINE for MEN JUSTFIT!

おとこの腕時計 HEROES

12 Vol.45 DECEMBER
PRICE 720 YEN

LUXURY AUTUMN

本当の「良い物」に触れる秋

高額大博覧会

ハイクラスウォッチ

高級機にはワケがある!!

静かに上質 ドレスアップにふさわしい高級機

全世界が憧れるハイブランドの華麗

やっぱこれ 自由で活発なラグジュアリースポーツ

豪華絢爛ジュエリー

複雑機構搭載の高級機

ロレックス最新リポート

SSスポーツは原点回帰の兆し
軽快な5桁リファレンスモデル
希少性増す4桁リファレンスモデルが熱い

専門店に訊きました!

CORUMはいつだってモテたい男の味方だ
ブランドが注力する上級モデル群が
腕時計ファンを魅了する

"リアルに感じる180本"
原寸表示 腕時計カタログ Real Image

パートナーと一緒にペアウォッチ
その魅力×2
HARRY WINSTON/AUDEMARS PIGUET/CARTIER/GaGa MILANO

優雅に時を刻み続ける名品・名機たち
アンティーク浪漫's
アンティークウォッチは難しくない、怖くない
大切に扱えばいつまでも輝き続ける

BUYER'S ISSUE... in SHINJYUKU & NAKANO
新宿・中野で時計を買う

「今はどこを向いている?」
〜マーケットの最先端から訊きました〜

市場の長針・短針

CORUMはいつだって モテたい男の味方だ

コルムという腕時計は世界で指折りの良い時計

モテ時計というと真っ先に
「コルムでしょう」と頭に浮かぶ人は多い。
実際に'80年代の日本の盛り場では、
たぶんR社やO社の腕時計をしている人よりも
コルムを着けている人のほうがモテた。
そんな状況は今でもあまり変わっていない。
コルムはファッション性と機能や性能のバランスがいい。
個性的なのに腕時計としてまじめなところが、またいい。
そんなコルムについて2013年、2014年の2年間
日本での販売実績連続1位のハナジマで訊いた

ハナジマ
花島素人

日本初のコルム コーナーをオープンするハナジマの花島社長は、自身もコルムを若いころから愛用している。そろそろアンティークに分類してもよさそうな年代物のコルムに、コルム純正品のベルトを合わせた。「ぜんぜん古い感じがしないでしょう。長い間着けられるところもコルムの魅力です」と話していた

GOLDEN BRIDGE

ゴールデンブリッジ

そこはすでにアートの領域

ゴールドのケースの中をまるで浮遊しているかのようなムーヴメントは、可能な限りのムダをそぎ落とす一方でどの角度から見られても美しさと正確さを維持するように造られている。スイス時計界の「巨匠」ビンセント・カラブレーゼが約2年の歳月を費やして最初のプロトタイプを造ったのが'77年。ドレスウォッチの常識を覆し「何にも似ていない」腕時計はその後製品化された。以来コルムを代表するシリーズのひとつとして熟成を重ね、2015年の今年もコルムの「顔」としてラインナップの一画を占め、世界のVIPたちの華やかで格式高いシーンでは必要な腕時計となっている

CORUM ゴールデンブリッジ B113/01042 (右)

落ち着いた輝きのホワイトゴールドのケースで守られたムーヴメントは、1枚の荘厳な絵画のようだ。K18WG。手巻。新品。550万8000円

CORUM ゴールデンブリッジ B113/01043 (左)

一方でピンクゴールドのケースは華やかなイメージ。サイドもシースルーなので、この芸術的な機械の横姿も楽しんでほしい。K18PG。手巻。新品。486万万円

SHOP Information

ハナジマ “コルム コーナー”

〒132-0025
東京都江戸川区松江7-11-3ハナジマ内
☎03-3652-8740
http://hanajima.com
営業時間：10:00 ～ 20:00
定休日：火曜日

CORUM
アドミラルズカップ
シーフェンダー 48 ディープハル
A947/00982

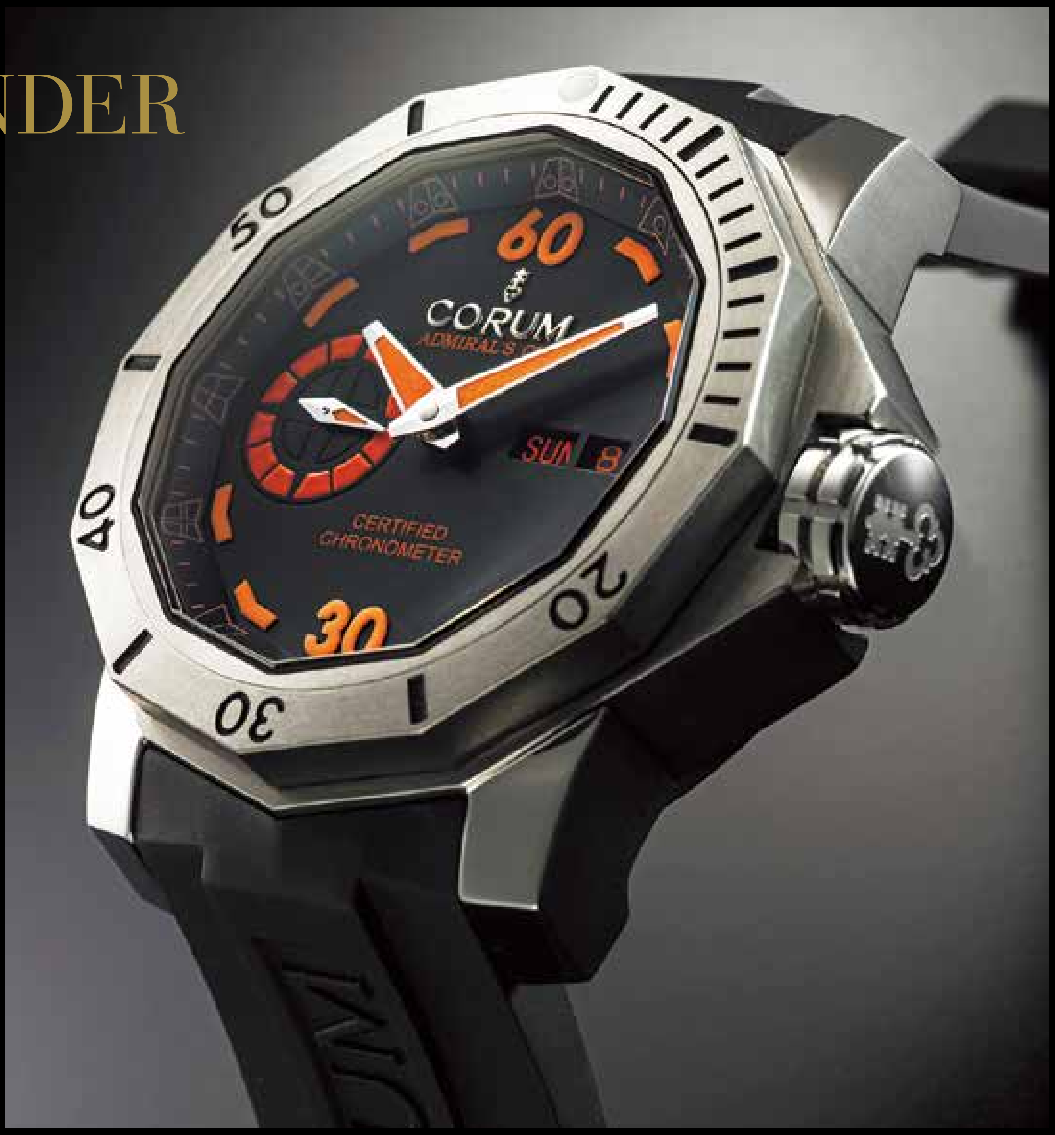
48mmのチタンケースはラージサイズながら腕に負担を感じさせないほど軽い。ダイヤルは反射の抑えられたブラックで、好対照のオレンジインデックスがバツグンの視認性を生む。1000m防水。ラバーベルト。200本限定。Ti。自動巻。新品。122万0400円

ADMIRAL'S CUP SEAFENDER

アドミラルズカップ シーフェンダー

アドミラルズカップはついに深海へ

コルムらしさは損なわず、より堅固で、よりスポーティに進化したアドミラルズカップのダイバーズバージョン。12角のデザインは踏襲しながら、本格的な逆回転防止ベゼルで、プロダイバーが納得する防水性と視認性を与えられている



CORUM
アドミラルズカップ
シーフェンダー 46
クロノグラフ
A753/00991

陸では迫力のあるサイズだけど、視界の限られたダイビング中では目盛りや数字がちょうど読みやすいサイズとなる。リューズやプッシュボタンも大きめで、ダイビンググローブを着けたままでも適確な操作ができそうだ。300m防水。Ti。自動巻。新品。127万4400円

BUBBLE

バブル

８年ぶりに復活した人気シリーズ

バブルというシリーズ名の通りに風船のように丸く膨らんだサファイアクリスタル風防が特徴。高級時計でありながらファッション性も高い。しばらく休止していたが、バブルシリーズの消滅を惜しむ声が多く、2015年モデルから復活した

CORUM バブル ブラウン L082/02424（左）

ブラウンPVD加工したケースにブラウンのギョーシェダイヤル。ベルトはスエードのレザーベルト。限定350本。SS。自動巻。新品。52万7040円

CORUM バブル ブラック L082/02587（右）

ブラウンとは色違いのブラックバージョン。こちらは上品なブラックカーフのベルト。限定350本。SS。自動巻。新品。52万7040円

CORUM バブル スケルトン
L082/02595

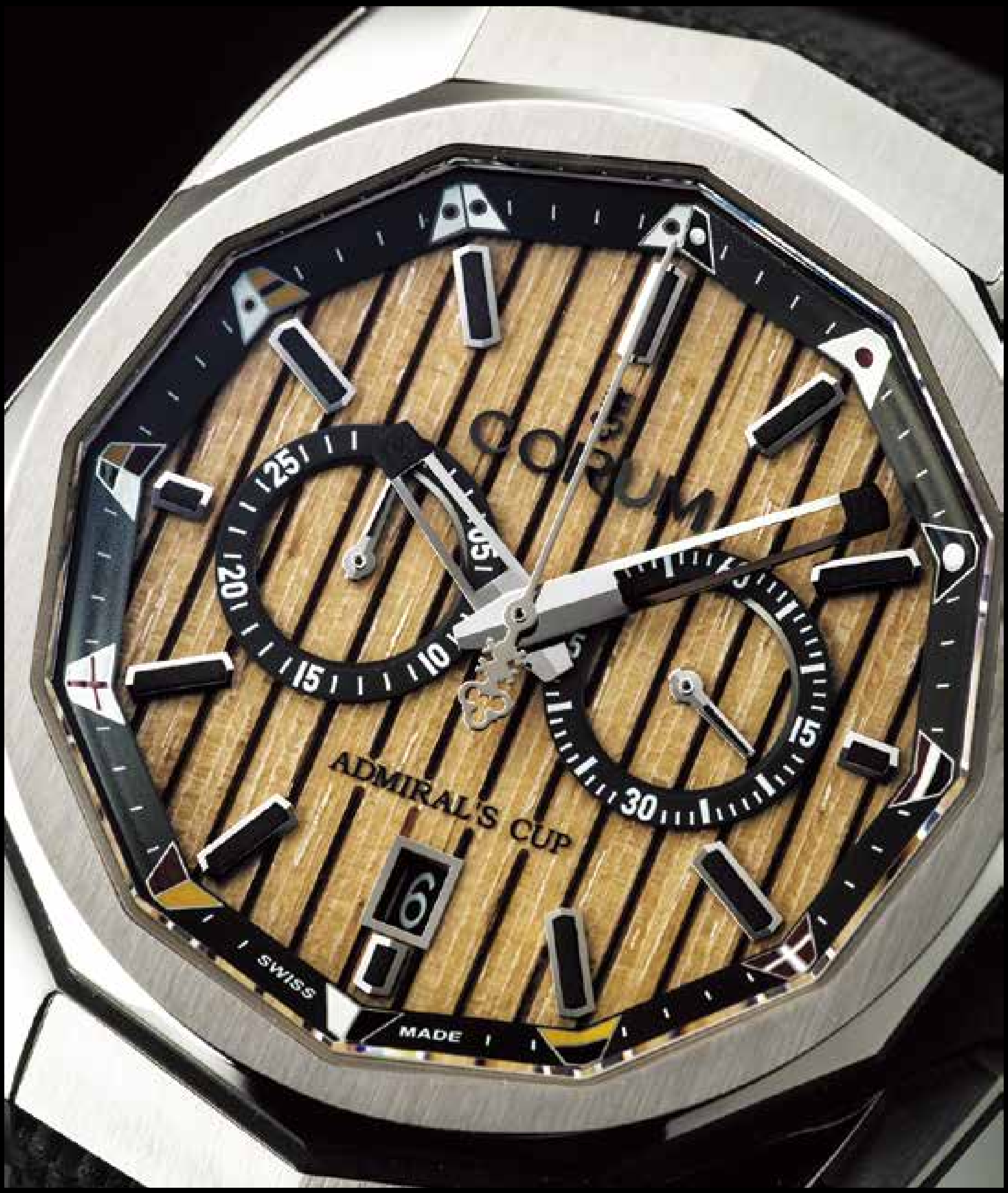
2015年バーゼルワールドのコルムのスペースでひときわ目を引いたのが、復活を遂げたバブルシリーズだった。スケルトンタイプはドーム型の風防の向こうでマット仕上げの機械が躍動するのが楽しめる。SS。自動巻。新品。127万4400円

ADMIRAL'S CUP AC-ONE 45

アドミラルズカップ AC-ONE45mm

海が鍛えた最新のマリンウォッチ

世界屈指のヨットレースである「アドミラルズカップ」とコルムの関係は深い。そんなアドミラルズの名を冠するコルムのシリーズの中で、45mmケースのAC-ONE45は守るべき伝統はキープしつつ機構、素材、カラーリングなどで常にチャレンジし続ける



CORUM アドミラルズカップAC-ONE45 ダブルトゥールビヨン
A108/02337

高精度な半面で、繊細な機構のトゥールビヨンをふたつ搭載。デイトは弓型に針を進めるレトログラード。実用面では300m防水の堅固なケースや、リューズトップのプッシャーで分針が12時位置にジャンプする機能を与えられている。ベルトをラバーに替えたりすればマリンスポーツだってこなせるスペックだ。Ti。自動巻。新品。1058万4000円

CORUM
アドミラルズカップ
AC-ONE45 クロノグラフ
A116/02599

2015年バーゼルワールドで発表したタイプ。ヨットのウッドデッキでも使われるチーク材を使ったウッドダイヤルが特徴だ。斬新な発想力のコルムらしい。カーボンベゼル。SS×カーボン。自動巻。新品。118万8000円

CORUM アドミラルズカップAC-ONE45 タイド
A277/02647（左） A277/02401（右）

潮位、潮汐の振幅、潮汐の時刻、太陰周期を測定するタイドグラフがついたセーリングウォッチ。開発にはジュネーブ天文台とフランス海軍海洋水路部が関わった。シーリングも万全な300m防水。Ti。自動巻。新品。各143万6400円

CORUM アドミラルズカップ
AC-ONE45 レガッタ
A040/01991

3時位置にはレガッタで便利な10分タイマーを備えるレガッタクロノグラフ。リューズもプッシャーも大きめで操作しやすい。ケースとブレスレットはグレード5のチタン製で、写真から受ける印象よりもずっと軽い。Ti。自動巻。新品。162万円

80年代最強のモテ時計 コルムの人気が急上昇中

「このところコルムの腕時計の人気は、80年代のコルムブームを彷彿とさせる、そんな勢いですね」

東京・江戸川区の時計と宝石の専門店、ハナジマの花島素人さんは話す。

そういえば80年代の東京では、銀座では大人たちが、そして渋谷や六本木では若い人たちがみんなコルムをしていた、などと書くと、何を大げさな、と言われてしまいそうだ。しかし事実、コルムをしている人は多かった。12角のベゼルに海洋旗をモチーフにしたコルム・アドミラルズカップのデザインは確かにカッコよかったし、またコルムを着けている人は飛び切りオシャレだった。

「私もね、そう感じましたね。もう30年来のファンなんですよ」

そう話す花島さんのコレクションの中にも、コルムが数本ある。80年代はちょうど20歳代の花島さん。賑やかな街で、コルムを着けて……。ステキな思い出があるらしいのだが、それはまた「機会があれば」ということで。

ところでコルムは、スタートが１９５５年ということになっている。

「ただし時計製造の歴史は、そこからさらに数十年はさかのぼれます」

花島さんはそう言い添える。

コルムの創業者のひとりは、パテック フィリップやオメガで活躍した技術者で、もうひとりは他社向けに腕時計の製造を請け負っていた工場主。コルム創業当時には、スイスで彼らは知られた存在だった。のべで数えれば１００年近い歴史がある。

COIN WATCH

コインウォッチ

歴史的なコインが腕時計に

純金のプレートや本物の金貨／銀貨をダイヤルや裏ブタに使用した“コインウォッチ”もまたコルムを代表するシリーズ。貨幣は特殊な方法ですっぱりと半分にスライスされ、表面はダイヤルに、裏面はバックケースになる。

CORUM 20ダラーズコインウォッチ C293/00831

1895年発行の米20ドルコインを使ったタイプ。限定ではないがダイヤルやバックケースになる22金のコインはすでに存在そのものが希少。このコインに合わせてケースは18金イエローゴールド。K18YG×K22YG。自動巻。新品。345万6000円

CORUM コインウォッチ 50周年アニバーサリーモデル C082/02495

コルムがコインウォッチを販売してから50年の節目にあたり、記念モデルが発表された。銀貨タイプは1ドル銀貨に合わせてケースも925シルバー製で43mm（210万6000円）。このほかに50ドル金貨を使った記念モデル（361万8000円）もある。銀／金とも限定100本。

ADMIRAL'S CUP LEGEND

アドミラルズカップ レジェンド

永遠に輝き続けるアドミラルズカップの至宝

独特の12角ベゼルに気品と風格を備えたダイヤルデザイン。アドミラルズカップの中でもベーシックなタイプの“レジェンド”たち。メンズは42mmと38mm。レディースは32mmと38mmがある

CORUM アドミラルズカップ レジェンド42クロノグラフ A984/01210（上）

ブラックの文字盤には細かいギョーシェの細工が施されている。2レジスタークロノグラフ。レザーベルト。SS。自動巻。新品。73万4400円

CORUM アドミラルズカップ レジェンド38 A082/01393（右下）

ピンクゴールドとSSのコンビ。ベゼルには透明度の高いカットダイヤをセッティング。黒蝶貝のダイヤルにも9つのダイヤモンドをセット。SS×K18PG。自動巻。新品。170万6400円

CORUM アドミラルズカップ レジェンド38 クォーツA020/02662（左下）

アドミラルズカップ伝統の海洋旗がインデックスとして用いられている。インデックスはにぎやかだけど、シンプルで嫌みのない腕時計だから、ふだん使いにもぴったり。これぞモテ時計の真骨頂。SS。クォーツ。新品。33万4800円

日本でいちばんたくさんコルムが見られる店の誕生

「とにかく時計に対して真摯な姿勢を貫いているブランドです」

ハナジマの花島素人さんはもう長い間、ファンとしてコルムを愛用し、ショップでは正規でコルムを扱いながら、ずっとそう感じている。

「ひと目でコルムだとわかる、コルムにしかできないデザインをずっとまじめに発展させてきました。その一方で、たとえば過酷なヨットレースにおいて、クルーが競技中に着けていて便利な機能の発明も重ねてきました。耐久力や精度の追及、さらにオーバーホールやアフターサービス面でも、とても誠実なブランドです。だから世界中のVIPから愛されているんです」

そんな花島さんは、日本のコルムファンの要望をスイスの関係者に何度もリクエストしたことがある。

「そのたびに軽いフットワークで対応してくれましてね。その中にはハナジマ・オリジナルみたいな仕様も生まれました」

だからファンはますますコルムを好きになる。初めての人はコルムの虜になる。

ハナジマでは、店内に日本で初の『コルム コーナー』が11月1日からオープンする。10月27日にはオープニングイベントも開催される予定だ。

「今年もバーゼルワールドで、しっかり確かめてきました。バーゼルでオーダーした最新のコルムも、このコーナーのオープンに間に合います」

コルムの品揃え日本一を誇るハナジマだが、このコーナーの設立で、より一層充実したものになることは間違いない。